

## 福祉学習を行いました

1月15日(月)に、3・4年生が、福祉学習を行いました。講師の先生は、社会福祉法人兵庫県盲導犬協会の方です。

この度は、PR 犬の「はなちゃん」が来てくれました。

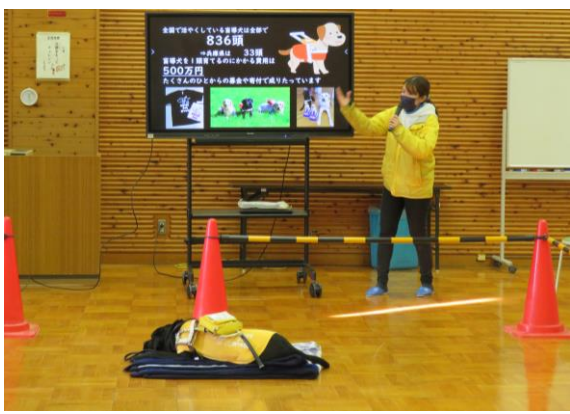
はじめに、DVD 視聴をして、『盲導犬』について学びました。次に、盲導犬訓練のデモンストレーションと盲導犬についてのお話を伺いました。最後に、質問時間をとっていただきました。



盲導犬は、ユーザー（視覚障がい者）さんの指示に従って動きます。「まっすぐ進んで」「椅子を探して」等です。盲導犬は、ユーザーさんを誘導する時に、曲がり角や段差等を止まって（ユーザーさんに）知らせます。



盲導犬は、10才になると引退します。現在、盲導犬の数が減っているそうです。その一つに、時代の流れがあげられます。スマートフォンのアプリの利用やサービス面の向上、医療技術の向上等です。また、ユーザーの高齢化も影響しています。その他に、盲導犬を育てる人が少なくなっていることや、盲導犬を育てるのに多くの費用がかかることも影響しています。



盲導犬は、ユーザーさんに無料で利用してもらっているそうです。そして、盲導犬が引退する時には、盲導犬協会に返してもらおうそうです。

盲導犬の条件は、①健康であること②やさしい性格で、人間が大好きなことだそうです。臆病であったり攻撃性が強かったりすると、盲導犬には向いていないそうです。

盲導犬としての歩みは、生後二か月頃からパピーウォーカーのもとで生活していきます。人間を信頼して、マナーを身に付け、人間の生活に慣れることを目標に過ごします。そして、一年後に盲導犬協会に戻ってくるそうです。



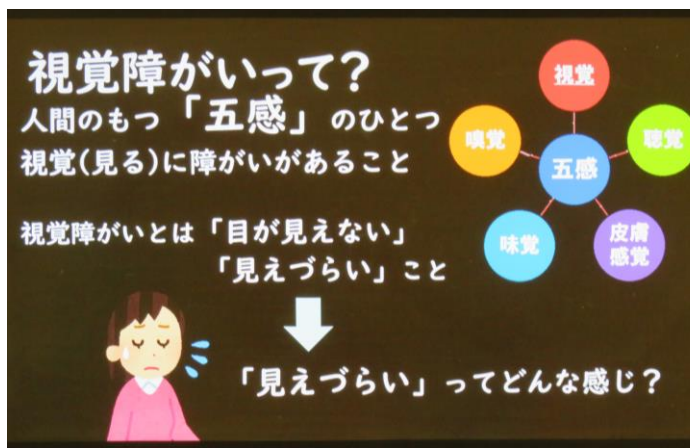
# 子どもたちは、熱心に盲導犬について学習しました



子どもたちは、真剣に話を聞いていました。



「見えづらい」ってどんな感じ？



視覚障がい者の方に声をかける時は、正面から声をかけることが原則です。案内する時は、ひじか肩を持ってもらって案内をします。視覚障がい者の半歩前を歩くようにします。

みんなが幸せに暮らすために、私たちはどうすればよいのかを考える機会となりました。  
子どもたちは、真剣に学習に取り組みました。

